



FOR IMMEDIATE RELEASE

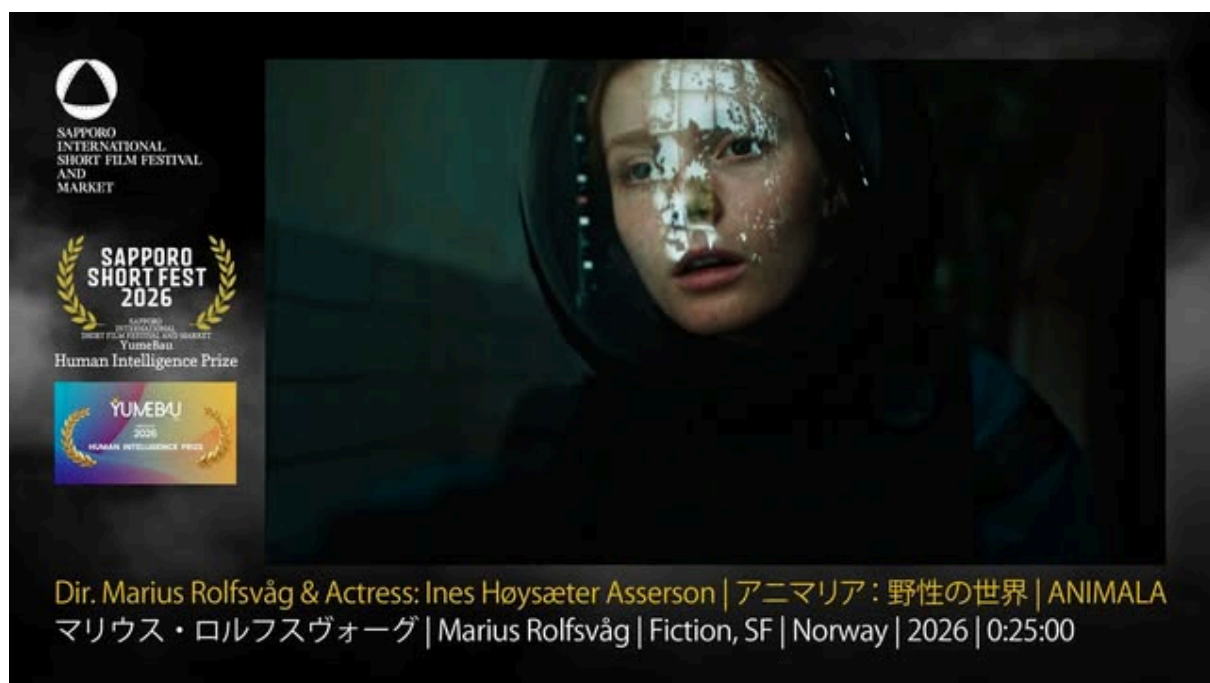
October 30, 2026

「ヒューマン・インテリジェンス賞」受賞作品はノルウェーのSF『アニマリア:野性の世界』に決定|札幌国際短編映画祭2026

自然が世界を取り戻した未来で、人間性を問う寓話

札幌、2026年10月28日 — 第21回札幌国際短編映画祭(SSF)は、10月23日(金)～25日(日)に開催。今年新設した特別賞「ヒューマン・インテリジェンス賞(Human Intelligence Prize)」の初代受賞作品には、ノルウェーのSF作品『アニマリア:野性の世界(Animalia)』が選ばれました。本賞は、カナダ・バンクーバーのYumeBau Inc.との協力により創設され、映画制作における人間ならではの技法や手仕事による芸術性が発揮された作品に贈られます。受賞作品には賞金20万円が贈られます。

受賞作品



『アニマリア: 野性の世界』(原題: Animalia)

監督: マリウス・ロルフスヴォーグ(Marius Rolfsvåg) ノルウェー | 2026年 | SF | 25分

自然が世界を取り戻し、都市が緑に飲み込まれた未来。中に封印された者たちを除いて、人間は動物に姿を変えた。動物化した人間たちのもともとから新生児を救出するために任務に就い



たアルム (Ines Høysæter Asserson) は、そこで動物の中に人間性を見出し、同時に彼女自身の内なる動物性に気づく。人間と動物の関係を描いた寓話。

本作は、2026年11月13日(金)～29日(日)に実施するオンライン上映(日本国内限定)でもご覧いただけます。

審査員コメント



ウィルソン・J・タン氏(YumeBau Inc. CEO兼創業者) ※アワードセレモニーで上映されたビデオメッセージより

「私は、弊社を代表して、第1回となるヒューマン・インテリジェンス賞を贈ることを誇りに思います。AIの時代を迎えるにあたり、私たちは、人間ならではの映画を称えるためにこの賞を創設しました。素晴らしい作品が数多くあり、Eunuk Jeong監督の『Hanako』や、Jérémy Comte監督の『Brute』などもありましたが、私たちが求めていたすべてを体現した作品が一つありました。

自然が世界を取り戻し、都市が草木に覆われた未来。新生児を救出する任務に就いた主人公は、動物のようになった人間たちの中に、自らの人間性を見いだします。『アニマリア』の核にあるのは、凝縮された神話です。それは、切実で、今この時代にふさわしい気づきを与えてくれます。私たちは自然と切り離された存在ではなく、その一部なのだ、と。

テクノロジーがどれほど進歩しても、私たちの身体の動物性も、感情の人間性も否定することはできません。緻密な脚本、力強い演技、美しい映像。そして何より、すべての人間の命は、守るために闘う価値があるのだと気づかせてくれます。2026年のヒューマン・インテ



リジェンス賞を、マリウス・ロルフスヴォーグ監督と、Ines Høysæter Asserson さんに、『アニマリア』で贈れることを誇りに思います。

おめでとうございます。そして、ありがとうございました。」

Video Message：SSF2026 YumeBau presents the Human Intelligence Prize winner!

<https://youtu.be/Ah5h7QX-Hkg?si=c84zEfsZcq4Udyb>

受賞監督メッセージ



マリウス・ロルフスヴォーグ監督(『アニマリア：野性の世界』)※アワードセレモニーに寄せられたビデオメッセージより

「ヒューマン・インテリジェンス賞をいただき、深く感謝しています。本当にありがとうございます。『アニマリア』で私たちは、自然もテクノロジーもかつてない速さで変わりつつある今の時代に、人間であるとはどういうことか、そして人間性を守るとはどういうことかを探ろうとしました。

この賞を日本でいただけることも、大変光栄です。私も私のチームも、日本の映画や物語の語りから深い影響を受けているからです。ありがとう。」

ビデオメッセージ：SSF2026 Human Intelligence Prize winner dir. Marius Rolfsvåg

"ANIMALIA"： <https://youtu.be/NZIQh26zi7k?si=WxD9hqzuToEYoKpP>

札幌国際短編映画祭からのコメント

初めてのヒューマン・インテリジェンス賞を『アニマリア：野性の世界』に贈ることができ、大変光栄に思います。受賞された Marius Rolfsvåg 監督、俳優の Ines Høysæter Asserson さん、制作チームの皆さまに、心よりお祝い申し上げます。本賞を創設し、審査にも加わってくださったウィルソン・J・タン氏とYumeBauの皆さまに、あらためて深く感謝いたします。AIが創作に与える影響が広がる今、人間ならではの物語を紡ぐ力を称えるこの賞が、映画祭に新たな視点をもたらしてくれました。



「ヒューマン・インテリジェンス賞」について

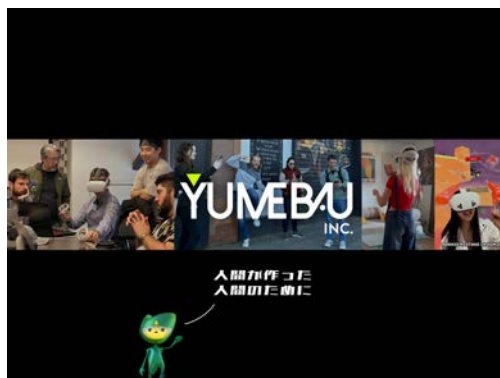


ヒューマン・インテリジェンス賞は、映画制作における人間ならではの魂を感じさせる技法やシーンを取り入れ、人間の手仕事による技術と芸術性が発揮された作品を評価する賞です。2026年のインターナショナル部門にノミネートされた作品を対象に、今年の映画祭のための特別賞として新設されました。

【審査は、ウィルソン・J・タン氏を含む6名で行いました。

※詳細は、10月21日配信の[前回のリリース](#)をご覧ください。

YumeBau Inc.について



YumeBau Inc. (ユメバウ) は、カナダ・バンクーバーを拠点とする独立系ゲームスタジオであり、ゲーム、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）などの技術を活用した、没入感のあるデジタル体験を創造するクリエイティブ・テクノロジー企業です。アーティスト、デザイナー、開発者が協働し、人々が遊び、学び、交流するための新しい体験を開発しています。主な実績には、『Fortnite（フォートナイト）』関連の制作協力、Metaとの空間コンピューティング分野における研究開発、自社開発のVRゲーム『BuildPort Xumia』などがあります。

「**Made By Humans. Made For Humans.**（人間によって、人間のために作られる）」を理念に掲げ、テクノロジーを通じて人間の創造性、想像力、そして人と人とのつながりを豊かにすることを目指しています。 公式サイト: <https://www.yumebau.com/>

札幌国際短編映画祭について

札幌国際短編映画祭（SAPPOROショートフェスト）は、2006年から毎年秋に札幌市で開催されている、日本最大級の国際短編映画祭です。カナダ映画テレビアカデミーが公認する映画祭でもあり、これまでに国内外の多くの新進監督を紹介してきました。第21回となる2026年は、94の国・地域から2,622作品の応募があり、オフィシャルセレクションとして28の国・地域、計96作品を上映しました。

公式サイト: <https://sapporoshortfest.jp/>



オンライン上映のご案内

第21回札幌国際短編映画祭のオンライン上映を、2026年11月13日(金)～29日(日)に実施します。視聴は日本国内に限ります。

詳細：<https://ssif.dada-streaming.com/>

公式サイト：<https://sapporoshortfest.jp/>

映画祭の詳細は、[10月10日配信のリリース](#)もご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

札幌国際短編映画祭（NoMaps実行委員会）

担当：久保／島田

メール info@sapporoshortfest.jp

公式サイト <https://sapporoshortfest.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/sapporoshortfest>

X（旧Twitter） <https://twitter.com/sapporoshort>

Instagram <https://www.instagram.com/sapporo.short.fest/>
